

後は、調査結果と訓練成果を踏まえ、危機に対する対応マニュアルの整備や訓練内容の充実を図り、危機対応力の向上に努めていきたいと考えている。また、本庁舎に危機管理対策室の事務室スペースを確保できる見通しが立ったことから、新年度の早い時期に移転を考えている。



ごみ減量政策

坂 ひろみ(市民ネット)

**問** 菓子の箱やラップのしんなどの「雑がみ」を集団資源回収品目として位置づけ、業者と市民と行政が協力して回収し、段ボールなどに再生する資源循環システムを早急にするべきと考えるが、いかがか。また、費用対効果の面から、ごみステーションにおける燃やせないごみの回収回数や方法を見直し、例えば、

月四回を半分に減らし、その分を古紙回収に充てるなどの工夫をすべきと考えるが、いかがか。

**答** 雑がみを集団資源回収の対象にすることについては、どのような方法が考えられるか、古紙の関係団体とも協議を進めながら、検討を進めていく。また、燃やせないごみについては、排出量に見合った回収回数について検討を行う必要があると考えている。



指定管理者制度

堀川 素人(改革クラブ)

**問** 市内三十四カ所の区民センター・地区センターの指定管理者として選定されたのは、すべて既存の運営委員会である。新規の応募者は一団体も落札していない。このような運用は官製談合と言っている市民がたくさんいる。指定管理者選定について、再選定も

一つの選択肢かと考えるが、いかがか。

**答** 今回の管理者の選定に当たっては、いずれの施設についても、外部の有識者を含めた選定委員会において、それぞれの選定基準に従って、厳正に審査が行われたものであり、談合ということはありませんと認識している。



建築物の耐震化の取り組み

村松 正海(自民党)

**問** 市立の学校施設、区役所、市営住宅など、札幌市が保有する公共建築物の耐震化率は全体で80%であり、耐震改修が必要なものが三百八施設、耐震診断が必要なものが五十施設残っている。耐震改修促進計画を、一刻も早く策定する必要があると考えるが、いかがか伺いたい。

可決された議案

●一般会計補正予算

次の内容で総額60億9,964万3,000円を補正するものです。

- ①北区役所および豊平区役所の機械室、美香保体育館、樽川人道二線橋のアスベスト除去に関する経費の追加
- ②防災対策上、緊急に対策を講じるべき道路の改修にかかわる経費、私立保育所の整備に対する補助および老朽化の著しい伏見中学校の改築費の追加
- ③私立保育所運営費、国から償還財源の追加内示のあったNTT無利子貸付金の償還金、児童扶養手当の超過受入れにかかわる返還金の追加
- ④不足を生じる見込みとなった除雪費の追加

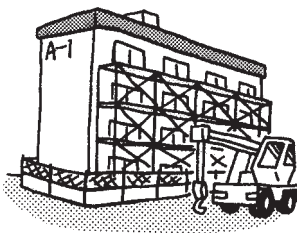
●札幌市住宅耐震化促進条例案

地震による住宅の倒壊を未然に防ぎ、市民の安全および生活の安心を確保するため、地震に対する安全性を確認する耐震診断の施策や、地震に対する安全性の向上を目的とした耐震改修などの施策の実施を求めるものです。

このほか、指定管理者の指定の件など合計59件が可決または同意されました。

可決された決議案

- 米国及び英国の共同臨界前核実験に抗議する決議
- 松浦忠議員に対する辞職勧告決議



ては、北海道と連携を図りながら、平成十八年度から策定に取り組むこととしており、十九年度の半ばごろをめどに、公共建築物などの耐震化の実現に関する目標や民間建築物における耐震化に向けた現状把握、普及・啓発および支援策などを盛り込んだ計画を定めていきたいと考えている。

●環境消防委員会

<3月2日> 豊平公園鳥類調査結果などの報告、産業廃棄物処理施設設置等ガイドラインの策定について、環境局から説明を聴取し、質疑を行いました。

●厚生委員会

<2月16日> 山口斎場(手稲区手稲山口312)を視察しました。

<2月20日> 「保育・子育て支援施策の拡充と予算の増額を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

このほか、3月3日には、各常任委員会において、本会議から付託された議案について、それぞれ審査を行いました。

2月11日～3月6日  
委員会の主な活動状況